

令和 8 年 1 月 19 日発行

真言宗御室派



〒700-0807

岡山市北区南方 3 丁目 10 番 40 号

TEL (086) 223-7450

FAX (086) 221-0302

振込 岡山 01250-6-6418

ホームページ www.chosenji.net

長泉寺だより 第 357 号



新年早々、米国トランプ大統領はベネズエラを空爆し、同国のマドウロ大統領夫妻を拘束した。ロシアによるウクライナ侵攻、中東での動乱、台湾海峡問題など、世界は第二次世界大戦以来の不穏な空気に包まれている。

誰もが平和を望んでいるのに、国際政治はなぜ対立ばかりなのか？と嘆いてしまふところでもあるが、残念ながらそれは政治の宿命なのかもしれない。そもそも政府とは、国益を護ることが第一の責務であつて、その性格上、他国と利益が相反すれば、対立するのは避け難い必然である。

そのような国際状況の一方、日経新聞系の月刊誌『日経トレンディ』（日経BP）が、「二〇

声字(言語)こそ実相(現実)

ひともし

二六年ヒット予測」という記事の一位に「多言語リアルタイム翻訳」を紹介した。いわゆる AI による同時通訳機能をいよいよ人類皆が手にするというのだ。

もしその技術を世界が実装し、政治を介することなく世界中のあらゆる人々が自由闊達にコミュニケーションを取るようになれば、多少の混乱も起こるとはいえ、中長期的には人類の相互理解は飛躍的な進歩を遂げるはずだ。たかが言葉と侮るなかれ。「声字(言語)こそ実相(現実)」とは、弘法大師が説かれる真言教学の真髄である。

正直、政治にはなかなか期待を持ち辛い今日ではあるが、人類の英知には大いに希望を持ちたい年明けである。(龍)

除災招福 厄除祈願

節分 星まつり

2 月 3 日 (火) 19 時～20 時

厄年の御方は お菓子やお餅などをお供え下さい

節分祈願札をご希望の方は 別紙案内用紙をご記入の上

寺務所まで申込み下さい (千円／一願)

お供えのお菓子の一部は 児童養護施設「若松園」様に寄付させていただきます



釜鳴護摩供



明けましておめでとございます。

檀信徒皆様には、日頃よりお寺へのご支援ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼を申し上げます。

今年の干支は午ですね。午というと仲間で群れを作って元氣よく駆け回り、あたかも背中に羽の生えた天馬のごとく大空に駆け上っていくような印象を抱いております。皆様の本年の運勢も、素晴らしい方向に跳ね上がっていきますようお願いしております。

さて長泉寺檀信徒総代会では昨年、来る「長泉寺中興七十周年」(令和十一年)に向けまして、「客殿修繕および檀信徒文化会館新築」という記念事業を立ち上げ、有識者を交えた三回におよぶ事前検討委員会を開催。そして本年初薬師・大般若法会においてその事業内容を檀信徒皆様にお諮りし、奉讃会を發足するに至りました。詳細につきましては追って逐次ご報告させていただきますが、檀信徒皆様にはぜひとも当奉讃会にご協力をいただきたく、何卒よろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様とご家族にとりまして、健康で幸せな一年になりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



長泉寺 檀信徒総代表 岩見 徹

新春のお慶びを申し上げます

さて本年は 正月八日に行われた大般若法会にて「長泉寺客殿修繕および檀信徒文化会館新築奉讃会」を發足し令和十一年に迎える当山中興七十周年に向けて新たななる伽藍整備事業を始める年となります 檀信徒皆様にはどうか当事業の意義をお汲み取りいただき 将来の檀信徒に安心安全なる伽藍を継承できるようご理解ご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます

一方で時代社会は人口減少 経済の停滞など積年の政治課題を解決できないまま 家族や地域といった共同体も弱体化し 孤立する個人が増えているように見受けられます 孤立し 淋しさや不安が増え 人間の心はどうしても荒れてしまふわけですが なんだか社会全体がギスギスしているようにも感じられる昨今でございます もっと人と人との関係性を見つめなおし 競うのではなく 労わり合い 争うのではなく 支え合えるような 心豊かな人間社会を と切に願っております

檀信徒皆様におかれましては 今こそより一層に菩提寺との繋がりを大切にしてください 仏さま お大師さまが示されている 仏道を共に歩んでいただけたらと存じます

皆様の一年のご健康 ご多幸を心より祈念申し上げます



令和八年丙午 正月吉祥日

長泉寺 住職 龍門

合掌

本尊薬師初縁日

大般若法会

本尊薬師如来の新年最初のご縁日である正月八日、当山の修正会にあたる「大般若法会」を奉修いたしました（参拝約五十名）。

有縁寺院十ヶ寺のご参集のもと、龍門住職が導師を勤め、当山本尊、並びに般若十六善神の御宝前に『大般若波羅蜜多經』を転読。檀信徒皆様の健やかで幸多き一年をご祈念させ



ていただきました。



法会後には、ご縁のある熊代三鈴さん（三鈴学園副学園長）のご紹介で広島よりお越しいただいた光原大樹さんに箏曲奉納を賜りました。美しい琴の音色はまさに日本のお正月らしく、ご参拝の皆様とともに新春を寿ぐ心豊かな時間を持てたように思います。

当法会を奉修するにあたり、お支え頂きました関係者皆様には、心より厚くお御礼を申し上げます。

除夜の鐘

昨年大晦日、恒例の「除夜の鐘」を奉修いたしました。

午後十一時四十分ごろ、本尊薬師如来様への年内最後の読経を終えた住職が本堂から降りてくると、鐘楼門の梵鐘が鳴らされ、除夜の鐘が始まりました。続いて総代、世話人、一般参拝者の順に次々と鐘を鳴らしていき、百人目くらいで新年を迎えることになりました。

住職は、鐘を鳴らした参拝者



約二百名の両肩と腰を『大般若波羅蜜多經』でお加持をし、皆様の一年の無事を祈りました。お接待には、備前味噌醤油株式会社様の「あま酒」が配られるとともに、お接待講のご婦人皆様による手作りの温かい豚汁が振る舞われ、参拝者皆様に喜ばれました。

大勢で賑わった除夜の鐘がひと段落した後、住職は本堂で新年最初の読経を本尊に捧げ、当山の令和八年が始まりました。ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

客殿修繕および檀信徒文化会館新築 奉讃会が発足

当山檀信徒総代会は、一月八日初葉師縁日に奉修した「大般若法会」において、中興七十周年（令和十一年）に向けた客殿修繕ならびに檀信徒文化会館新築事業に関する話し合いの場を設け、ご参会の檀信徒皆様に對して住職、総代より事業内容



の説明をさせていただきました。先ず冒頭に、龍門住職が事業の必要性を左記のように述べました。

①昭和三十六年建造の客殿は、現在その老朽化が顕著となっており、これの修繕、および耐震補強は避けることができない ※土地の法的制約があり、新たに建て替えることは困難

②現在の長泉寺が行う各種行事（法要・祭事・文化活動など）に對して客殿の収容力が不足しており、来寺者に不便をかけている

③檀徒の葬儀を当山で執り行う際に宿泊する機能がなく、ご遺族が安心快適に通夜を過ごすことが出来ない

また、それらの問題を解決し、未来の檀信徒に残していきたい伽藍整備計画案に関しては、
①現有客殿の修繕、および耐震補強工事を行う ※ただし住職家族が居住している庫裏は含まない



②客殿の収容力不足を補うため、さらには当山の文化活動、および檀徒の通夜葬儀を行うことのできる利便性の高い施設として、境内西側駐車場に「薬園山荘」（※イメージ図参照）と称する檀信徒文化会館を新築する

③本年三月の春彼岸より、当事業に對する任意の協賛寄付金を檀信徒皆様にお願ひする
④当事業の詳細な工事内容、および費用等については、協賛

寄付金の依頼を行う際に檀信徒皆様にお知らせさせていただく

⑤当事業は、令和十一年に迎える「長泉寺 中興七十周年記念法会」を主宰することを以って完了する

と、五点の説明がありました。続いてご参会の皆様からの質疑応答を経て、同事業の奉讃会発足については是非を問うたところ、全会一致で決議されました。

併せて当奉讃会の役員には、

会長 岩見 徹 氏

副会長 丸山惣一 氏

会計 多田章利 氏

浦上 洋 氏

田口 茂 氏

有松啓介 氏

建設顧問 難波 剛 氏

間 健一 氏

が選出され、会員については「当奉讃会に協力する長泉寺檀

信徒」とその資格が定義されま
した。

会の最後に、当奉讃会の会長
に就任された岩見徹いわみとおる総代長が
ご挨拶をされ、当事業の無事成
満に向けた意気込みが語られる

とともに、檀信徒皆様に対して
ご理解とご協力を賜りたいと呼
びかけられました。

つきましては、ここに晴れて
「客殿修繕ならびに檀信徒文化
会館新築奉讃会」が発足されま

「薬園山荘」イメージ図



したので、住職、
および奉讃会役
員一同ともに、
より一層に力を
合わせ、令和十
一年の中興七十
周年に向けて鋭
意精進して参る
所存でございま
す。

檀信徒皆様には
当事業に対し
ましてどうかご
理解、ご協力を
いただきたく、
何卒よろしくお
願いを申し上げます。

岡山空襲を学ぶ

長泉寺 寺子屋文化講座



隔月開講している「寺子屋文
化講座」は昨年十二月十五日、
講師に岡山空襲展示室の木村崇
史先生をお招きし、「まちの歴
史・記憶としての岡山空襲」
その実態と被害、復興の道のり
について」というご講演をい
ただきました。

戦後八十年に際して、あらた
めて同空襲についての学びを深
めることができました。

とんど焼き

一月十五日、当山境内にて毎
年恒例の「とんど焼き」を奉修
しました。

龍門住職が読経をする中、ご
参拝の皆様とともに正月飾り
や昨年までの古札、御守護、卒
塔婆などをお焚き上げし、心身
を浄め、健やかに一年を過ごせ
るよう祈念させていただきました。

お手伝いいただきました皆様
には感謝申し上げます。



「伊勢街道巡礼」ご案内

長泉寺杖心会

杖心会は今春、四月十七日

(金) 十九日(日)の三日間、

奈良県桜井市から三重県伊勢市へと続く「伊勢街道」の巡礼旅を企画しております。

古都である大和の国より、かつて多くの人々が伊勢神宮へ参詣されたわけですが、その道中には真言宗豊山派総本山長谷寺(奈良県桜井市)や齋宮跡(三重県多気郡明和町)など、日本人の信仰に大きな影響を与えている遺蹟が多く存在します。またそれは、神さまと仏さまが混然一体となってきた我が国特有

の歴史そのものであり、ぜひ多くの方に知っていただきたい内容であります。

さらには目的地である伊勢神宮についても、あまり語られることのない仏教の歴史的側面が多く残っており、伊勢内宮の奥之院とも呼ばれる朝熊山の金剛證寺様への参拝を予定するなど、現代の日本人に脈々と連なる神仏習合の精神を紐解くことが出来る旅になろうかと存じます。

旅程や費用などは次号いづみにてお知らせさせていただきますので、「興味のある御方にはぜひ」予定下さいませ。



「雨宝童子図」(19世紀) 國學院大學所蔵 ※撮影筆者 2025.11.26.「中世日本の神々」展にて
※雨宝童子は、長谷寺と金剛證寺に祀られており、大日如来が天照大神として化現した姿と伝わります。

終い弘法 萬燈会

岡山市内の真言宗寺院で結成される「岡山市弘法大師降誕会」

(事務局当山内) は、令和七年

の最後となる大師御縁日(十二月二十一日)に、一年の反省

(懺悔)と感謝を捧げる「終い弘法 萬燈会」を奉修しました。

高野山真言宗金剛寺様(北区磨屋町) 駐車場に道場を築き、

ご本尊のお大師様へ僧衆が読經を捧げる中、参拝者皆様が次々

と一年の反省(懺悔)を書いた紙を水に流す「流水回向」を行うとともに、一年の感謝を書いたカップローソクを献灯され



ました。

十二月の夜にも関わらず穏やかな天候に恵まれ、約八十名のご参拝をいただきました。皆様には、心清らかに新年を迎えていただければと存じます。

なお、岡山市弘法大師降誕会 は、お大師さまのご誕生を慶祝するため、大正八年より毎年六月十五日に「弘法大師ご誕生慶祝 青葉まつり」を主催しています。本年は当山長泉寺で奉修されますので、檀信徒皆様にはお繰り合わせお参りいただけますと幸いです。



年間大師塔婆供養

毎月二十一日の「大師縁日法

会（弘法大師御影供）」にて、

お申し込みいただいた檀信徒各家の精霊に回向を捧げるため、塔婆供養を一年にわたって奉修しています。

ご供養を希望される御方は、「大師縁日 年間塔婆供養申込書」（寺務所に置いてあります）に必要事項をお書きの上お申し込みください。

◆年間 大師塔婆供養

経木塔婆 一基二〇〇円

※一年間二、四〇〇円



長泉寺将棋クラブ



本年、「長泉寺将棋クラブ」が開催百回目を迎えます。

平成二十九年一月に第一回を開催して以降、コロナ禍での一時中断を除き毎月一回のペースで続けてきました。

将棋は、老若男女にとっても良い頭の体操になりますし、年齢を問わず誰もが一緒に遊ぶことのできる貴重な日本文化であります。また、それをお寺ですること、子どもにとっては

礼儀を学び、地域社会を知るきっかけにもつながります。老若男女、いつも多くの方にお越しいただき楽しく将棋を指して参りましたが、おかげさまで本年九月に開催百回目を迎える運びとなり、大変嬉しく感じている次第です。

その際には日本将棋連盟様にご協力をいただき、プロ棋士の先生をお招きする予定です。どうぞお楽しみに。



長泉寺の縁日法会

毎月 8 日 10 時～ 本尊縁日法会
法話 / 写経

21 日 10 時～ 大師縁日法会
法話 / 写経 / 空海プログラム(法話) / お接待

28 日 10 時～ 不動縁日護摩供
必生不動明王護摩供養 / 不動真言念誦行

奉納のぼり幡ご案内

白須賀観音堂の横(北側)に掲げる朱色の小のぼり旗の施主様を募集しております。

「南無薬師如来」、「南無不動明王」など、当山に祀られる各仏様を讃えるのぼり幡となっております。施主名を記載し、約一年間掲げさせていただきます。奉納施主をお勤めいただけます御方には、当山まで一報下さいませ。

金 伍千円也 / 幡一基

長泉寺合唱団ナーガが出演♪

コンサート 環 KAN

2月1日(日) 於ルネスホール

開場午後2時半 開演午後3時

一般前売・当日共に 一五〇〇円

中学生以下無料

おかやま旧銀ホール岡山市北区内山下一六二〇

ナーガをはじめ、佐々木英代先生が指揮を取られる各合唱団が出演します。
ぜひご来場ください。

主催：コンサート「環」実行委員会、他

令和八年丙午 年回忌表

一周忌 令和 七年没

三回忌 令和 六年没

七回忌 令和 二年没

十三回忌 平成 二十六年没

十七回忌 平成 二十二年没

三十三回忌 平成 六年没

五十回忌 昭和 五十二年没

弔いご供養というものは継続的な積み重ね
が大切です 年忌法事は忘れないように気を
つけていただき 早めのご予約をお願いします

涅槃会

2月15日(日)午後2時～4時

於：玉佛堂

釈尊^{しゃくそん}の遺徳を称えるため、堂内に涅槃図^{ねはんず}を
掲げ、常樂会^{じょうらくえ}という法会^{ほうえ}を奉修します。
どなた様にも、どうぞご参拝下さい。

将棋クラブ

毎月一回 客殿で開催中
参加無料

■93回目

2月23日(月祝) 13:30-16:00

■94回目

歩 3月15日(日) 13:30-16:00 歩

いつも集まったメンバーで楽しくやっています。
どなたでもお気軽にご参加ください。



長泉寺
寺子屋
文化講座

Vol. 55

1月23日(金)19時～20時半 於 長泉寺本堂

参加無料・要事前予約 TEL:086-223-7450

参加ご希望の方は、事前にお電話でお申込み下さい。

「新発見の木喰仏」
もくじきぶつ

講師：田中愛弓 先生 赤磐市山陽郷土資料館

長泉寺の公式ホームページをぜひご活用下さい

長泉寺 南方

検索

住職のブログ、月行事日程、文化教室のご案内など長泉寺の様々な情報をご覧になれます